

---

NORMAL 系列名 観測値の識別番号 値  
[ 系列名 観測値の識別番号 値 ... ] ;

---

機能:

NORMAL は、選んだ観測値が予め与えられた値を持つように系列を規準化します。規準化は、全ての観測値を同じ値で割ることによって得られます。

使用法:

NORMAL のあとに、系列名を指定します。次に、基準となる観測値の識別番号を与えます。最後に基準となる観測値の持つべき値を与えます。元の観測値は、規準化された観測値の値に置き換えられます。観測期間は、SMPLによって定められています。

観測値の識別番号は、期種が NONE あるいは ANNUAL でなければ、期まで指定しなければいけません。つまり YYYY:PP あるいは YY:PP といった形式でかかれなければならないといけません。ここで YY は年、PP は期を示します。

規準化される変数の数は自由に増やせます。先に説明した 3 組の変数を繰り返し与えてやればよいのです。

例:

この例では、変数 CPI が 1975 年に 100 になるように規準化します。

```
NORMAL CPI, 75, 100 ;
```

これは次のステートメントと同じです。

```
SET BASE=CPI(75) ;  
CPI = 100*CPI/BASE;
```

次の例では、1 組の四半期価格変数を 1972 年の第 1 四半期を 1 の値にするように規準化します。

```
NORMAL P1,72:1,1 P2,72:1,1 P3,72:1,1 ;
```

アウトプット:

NORMAL にはアウトプットはありません。1 つの系列がデータ領域で置き変わります。